

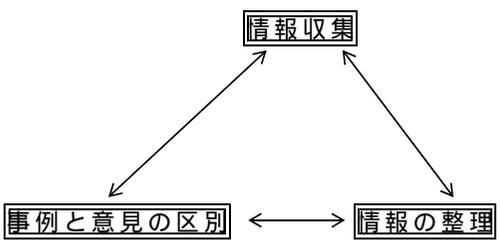
第6学年 総合的な学習の時間活動案

指導者 千葉 誠二 (T1) 大須賀 章子 (T2)
戸賀瀬 百合賀 (T3) 菊地 新吾 (T4)
池田 裕貴 (T5)

1. 単元名
未来へのメッセージ ~みつめよう 命の星 地球~
2. 単元の目標
環境問題を通して、地球のすばらしいところや問題点について関心をもつ。
「みつめよう 命の星 地球」をキーワードとして自分の課題を設定し、調査方法や必要な情報を自分で選択しながら追究したり、効果的な方法で表現したりすることができる。
3. 指導にあたって
 - (1) 児童について
昨年度、「米作りにチャレンジ」「米から広がる世界」という活動に取り組んだ。米を育てるという具体的な活動から始まり、米作りの上での環境問題や外国の食文化へと広がっていった。また、「学校の歴史を探ろう」という活動では、130年の歴史をもつ本校の歴史や伝統を探りながら、本校にかかわってきたたくさんの人の苦労や努力・栄光を知り、自分たちもすばらしい歴史を作っていこうとする願いをもつことができた。このような活動を通して、学年共通テーマに対してイメージマップを利用しながら一人がイメージを広げることができた。また、友達や教師の支援を得ながら個人課題を設定してきた。活動計画立案の場面では、時間はかかるが、手引きを利用したり教師の助言を得たりしながら進めることができた。追究活動の場面では、資料選択、資料収集、資料整理全ての段階で個人差が大きく、上位の子どもは自力でどんどん進めていけるが、資料の提供からかなりの支援が必要な子どももいる。表現する場面では、多様なまとめ方を紹介してきてはいるが、新聞や本でまとめる子どもが多く、映像機器を利用してまとめたり伝えたりする方法に慣れていない。しかし、ほとんどの子どもが自分の選択した方法で、絵や写真・図を利用しながら、「きっかけ」「調べたこと」「自分の考え・感想」という流れでまとめることができるようになってきている。
事前アンケートでよくと、地球環境に対する認識は浅かったり、思いこみや不確かな情報である場合も少なくないという実態が浮かび上がってくる。地球のすばらしさや地球がかかえる課題をとらえるために、正しく認識することから始めていきたい。
 - (2) 単元について
昨年度興味を高めた「環境」「未来」から広がりを受け、「未来へのメッセージ ~みつめよう命の星 地球~ (前期)」「未来へのメッセージ ~みつめようわたしたちのふるさと~ (後期)」という単元を設定した。
6年生ではどの教科・領域においても世界や地球を素材とした単元・題材が配当され、子どもたちの意識の広がりを助けている。本単元では、この断片的な知識や情報を統合し、個々の関心に応じて多様な分野への広がりが期待できると考える。子どもたちが、様々な視点で地球をとらえ、課題の解決を目指す中で、自分自身の生活や生き方をも見つめ直すきっかけとなることを願い、本単元を設定した。
 - (3) 指導について
オリエンテーションでは、テーマに関連した豊富な映像を提供し、興味・関心を高めイメージを広げることができるようにしていきたい。また、環境問題に関連した資料を日常的に掲示し、課題設定や課題解決につなげていきたい。
課題設定及び活動計画立案場面では、昨年までの経験を生かし、できるだけ自力で見通しをもつことができるように、時間を十分に保障したい。
追究する場面では、座席表を活用し、個々の進行状況を把握したり、資料提供や助言計画を立てたりして、それぞれのめあてや願いが達成できるようにしたい。また、一人一人が追究活動の場を選択したり自分の力で設定したりすることで、より主体的に追究活動ができると考える。
表現する場面では、これまで経験した様々な表現の仕方を振り返り、より効果的な方法でまとめたり伝えたりすることができるようにしたい。また、長期休業中の教育施設の利用を積極的に進め、追究が深まるようにしていきたい。
本時は、課題の解決を目指し、一人一人が自分で立てた計画に従って追究活動を行う時間である。追究活動全体の後半部分に入るので、これまで集めた資料を整理分類する、集めた資料を持ち寄って更に調べた方が良いことなどについてアドバイスし合う、多様な追究方法で資料収集する等の子どもの姿が予想される。そこで、一人一人の進行状況を把握しながら、ITを生かした取り組みをしていきたい。

4. 全体計画 総時間数 36 時間 (本時 21 / 36)

次	主な学習活動	形態	上位の子への手立て	評価規準 B	下位の子への手立て	教科等との関連
一 次 3	地球の現状について話し合い，単元を設定する。(3)	全	・ 環境に対するイメージを膨らませるために意見交換を進める。	・ ビデオや写真資料集をもとに，地球の環境問題に興味をもつことができる。	・ 地球の環境問題へ興味を抱かせるように日常の教室環境等に配慮し意欲付けをする。	
二 次 26	イメージマップ作りをする。(1) 課題設定につなげるための下調べをする。(2) 自分の思いを明確にして，自分の課題を設定する。(1)	個 個 個	・ 自分が追究したい課題についての追究方法や内容の計画を設定するように促す。	・ 自分の思いを明確にして課題を設定することができる。	・ 課題例を提示して，追究したい課題を自己決定できるようにする。	・ テーマ設定の書き方 (国語)
	課題を追究するための計画書を作成する。(2) 自分の計画に従い，課題を追究する。(20)	個 個 個 個	・ 課題を追究するために調べる資料や順序・方法の見通しをもてるようにする。 ・ 集めた情報が確かなものかどうか複数の資料で検証してみるように促す。 ・ 集めた情報の関連性や共通性を探そうに進める。 ・ まとめを意識して，補足資料の例を示す。	・ 課題を追究するために，計画を立てることができる。 ・ 図書資料・インターネット・ビデオ・テレビ会議などから情報を探し出すことができる。 ・ 集めた情報に対して，自分の考えや意見をもつことができる。 ・ まとめる情報を選択することができる。	・ 課題を追究するための手順や方法の例を提示する。 ・ 必要だと思われる資料を提示し大事なことを抜き書きするように指示する。 ・ 友達の見解カードを参考にして書けるようにする。 ・ 不足している資料を収集するための方法を提示する。	・ インターネットの検索 ・ 敬語の使い方 (国語) ・ 資料の活用・整理(社会) ・ 目的に応じて書く(国語) ・ 事例と意見の区別 (国語) ・ 観察 (理科) ・ 問い合わせの手紙の書き方 (国語)
三 次	調べたことを工夫して表現し，効果的に伝える。(7)	個 全	・ 効果的に分かりやすく表現する方法を紹介する。	・ 調査の結果や自分の考えを整理して表現することができる	・ 書く内容やレイアウトなどを指示し，表現できるようにする。	・ 思いが伝わるように話す ・ 意図を考えながら聞く



本時 21 / 36 (12 / 20)

5. 本時の実際 (2 1 / 3 6)

(1) ねらい

自分の課題の解決に向けて、主体的に活動しようとする。
 自分の計画に従い、調査方法や必要な情報を選択しながら、課題の解決に向けて情報収集を充実させることができる。

(2) 活動過程

過程	形態	時間	学習活動と予想される児童の反応	学習への支援	評価
つかむ・みとおす	個	2	1. 本時の活動について確認する。	一人一人がはっきりした見通しをもって活動することができるように、本時の自分の活動計画を一人一人が立てているようにしておく。	
	個	5 0	2. 自分の課題を追究する。 今日調べる課題については、図書資料でじっくり探してみるぞ。 図書資料で調べたことを今日は、インターネットも使ってもっと調べてみよう。 インターネットや図書資料の他に、専門家の方やくわしい人からお話を聞かせてもらいたいな。その時のために、お聞きすることをまとめてみようかな。 今日はテレビ会議システムも使えるから、今まで調べたことに関係する写真などがないか、総合教育センターの先生に質問してみよう。 ビデオコーナーで、今まで調べたことを映像でも確かめてみよう。 同じテーマで学習を進めている友だちと、使った図書資料や参考にしたホームページ等の情報を交換しながら進めてみよう。 もっと詳しく調べるためにはどんな方法で調べるのがいいか、先生に相談してみよう。 今日の課題は、計画通りに調べることができたぞ。		
しらべる					
ふりかえる	個 学年 (全)	8	3. 本時を振り返り、次時の計画を立てる。	本時の自分の活動計画に照らして振り返り、それをもとにして次時の活動への見通しをもつことができるようにする。	調査方法や必要な情報を選択しながら情報収集を充実させていたか。 (観察, 調査用紙, 振り返り)